

反人種差別政策

保護者向け情報

人種差別は、児童・生徒のウェルビーイング、学校での参加および学習成果に影響を及ぼします。NSW 公立学校において人種差別および人種差別的な行為は許容されません。

何についての政策ですか

[Anti-Racism Policy](#) (反人種差別政策) は、学校環境における尊重と調和を推進するものです。この政策は文化、言語、あるいは宗教的背景に関係なく、すべての児童・生徒に教育機会が公平に与えられることを目的としています。同政策は：

- アボリジニの人々に対する人種差別の影響を認識します
- 学校がすべての生徒に対して高い期待をもち、いかなるグループの生徒も文化的、宗教的、言語的な背景を理由に潜在能力を発揮する可能性を阻止されないようにします
- 学校コミュニティのすべての人々が自分自身の行動について考え、自分たちの行動が他の人に人種差別を経験させる結果を招かないようにすることを要求します
- すべての職員がトレーニングを受け、人種差別を防止する責任を理解するように要求します
- 各学校がトレーニングを受けた反人種差別連絡担当官を配置することを義務付けます

反人種差別連絡担当官とは？

反人種差別連絡担当官 (Anti-Racism Contact Officer (ARCO)) は学校長により指名された教師で、学校における反人種差別教育を主導します。ARCOは以下内容を提供することによって学校長を支援します。

- 人種差別が児童・生徒の学習成果およびウェルビーイングに与える影響について、職員が理解を深めるためのサポート
- 児童・生徒および職員が人種差別の出来事を見たり、聞いたりした場合の対応の仕方について助言
- 学校が人種差別に対応するために実行できる方策について助言

ARCOは保護者、教師および児童・生徒に人種差別に関する [complaints](#) (苦情) を解決する手順について助言を提供できるようにトレーニングを受けています。要請があれば、ARCOは、苦情解決・処理中に [support person or advocate](#) (支援者あるいは擁護者) としても行動できます。

子どもが学校で人種差別を経験している場合、どうすれば良いでしょうか

お子さんが学校で人種差別を経験している場合は、教師あるいは学校の反人種差別連絡担当官に報告するようにお子さんを励ますか、またはお子さんに代わって保護者が報告することもできます。

学校での人種差別に関して苦情申立てをするには

保護者、職員、児童・生徒を含めて学校コミュニティの誰でも人種差別について [make a complaint](#) (苦情申立て) を行うことができます。人種差別の苦情は、学校長、反人種差別連絡担当官あるいはどの職員にでも報告できます。人種差別に関する苦情は [School Community and Consumer Complaint Procedure](#) (学校コミュニティ・消費者苦情処理手続) に説明されている通りに処理されます。

ネット上での人種差別について

生徒個人あるいは文化的なグループを対象とした児童・生徒による人種差別などネット上で発生する学校関連の人種差別は、上記記載通りに学校に報告する必要があります。ネット上での安全に関する助言は、eSafety Commissioner website (eSafety コミッショナーのウェブサイト) で [Online safety](#) (オンライン・セーフティ) をご覧ください。

詳細情報はどこにありますか

さらに詳しくは、[Anti-racism education](#) (反人種差別教育) をご覧ください

通訳の支援

学校へのお問合せ、または職員との面談予約の際に通訳が必要な場合には、131 450の電話通訳サービスにダイヤルし、日本語の通訳を要請してください。

オペレーターに学校の電話番号をお伝えいただくと、オペレーターが学校に電話して通訳につなぎ、会話をお手伝いします。

学校職員との面談に通訳をご希望の場合は、学校に手配を依頼してください。学校は都合に応じて、構内、オンラインあるいは電話で通訳を手配致します。この通訳サービスは無料でご利用いただけます。